

## 認知症ケア論

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》鈴木 真人 (看護福祉学部 s-masato@hoku-iryo-u.ac.jp)

### 【概要】

認知症高齢者が増加し続ける今、介護現場や介護職だけではなく、あらゆる領域の専門職にとって認知症ケアの知識や技術は不可欠となっている。そこで本講義では、社会福祉の専門職として必要な認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症を抱える人やその家族、周囲の環境にも配慮したケアや、関わる上で必要な知識や技術を習得する。DVDの視聴、事例の検討等を通して、アセスメントや関わり方について実践的に学ぶとともに、チームアプローチを行う上で不可欠な自分の意見や考えを、根拠をもって他者に説明できる力を身につけることを目指す。

### 【学修目標】

- ・脳の仕組み、認知症の原因疾患の特性について理解し、説明することができる。
- ・認知症の特性と環境による影響も含めたアセスメントの意義を理解し、自身の関わり方や支援方法について他者に根拠をもって説明することができる。
- ・認知症の人や家族を支援する上で必要となる法制度や専門機関・職種について理解し、説明することができる。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

看護師

### 【実務経験を活かした教育内容】

医療施設での実務経験をいかし、認知症の疾患の特性、ケアの方法や留意点などの基本的知識を講義する。